

5 艶三郎の井 (つやさぶろうのい)

所 在:伊那市荒井 受益面積:約40ヘクタール

築 造:明治28年

管理者:横井清水水利組合

明治の中頃、天竜川西の高台では水の利権をめぐる争いが絶えませんでした。用水の必要性を痛感した西伊那村荒井の御子柴艶三郎(みこしばつやさぶろう)は、私財を投げ打って上荒井の広大な畑地に地下水脈を探し求め、明治28年ついに水脈を発見しました。この井戸は思いのほか水量が多く、一帯の約40ヘクタールが水田となりました。

明治33年冬「俺の命は約束通り水神に差し上げる。俺は水神になるのだ。」と遺言を残して艶三郎は自刃しました。現在もこの井戸はこんこんと水が湧き出し、近くには頌徳碑が建っています。「まほらいな いいとこ 百選」に認定されています。

